

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

3月16日の深夜、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震がありました。現在でも、東北新幹線にその影響が残っています。今般の地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さんに心よりお見舞いを申し上げます。

今回、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に対して強く抗議するとともに、抗議文の送付や救援金箱の設置についての表明をしました。しかし、ロシアによる軍事侵攻はさらにエスカレートし戦況は激しくなるばかりであり、各種メディアでこれらの惨状を目にするたびに本当に心が痛みます。さいたま市におきましても、ウクライナ語またはロシア語で生活相談ができる窓口を設置しいています。加えて市営住宅について準備をしております。ウクライナから避難された方々が安心して本市に滞在していただけるよう、国との調整を行いながら、しっかりと対応してまいりたいと考えております。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会 副会長も務める



ロシア連邦大統領
ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

抗議文

この度の貴国によるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に対し、強く抗議します。

貴国の行為は、国際社会の平和と秩序を脅かし、武力行使を禁ずる国際法、国際連合憲章に反する行為であり、断じて容認することはできません。加えて、核兵器使用を示唆したことは、核兵器のない世界の実現に向け努力を続ける国際社会を大いに失望させる行為であり、強い憤りを感じています。

平和都市を宣言した、さいたま市を代表して、貴国が直ちに軍事侵攻を中止し、ウクライナから軍を撤退させるとともに、国際社会との対話と協調による平和的解決を強く求めます。

2022年3月3日

日本国 埼玉県

さいたま市長

清水勇人

さて、本市の新型コロナウイルス感染状況は、緩やかな減少傾向にあります。いまだ多くの新規陽性者が確認されている状況です。

特に、3月、4月は年度替わりの時期に当たり、卒業、入学や入社、人事異動などはもとより、お花見なども含め、様々な行事が行われる時期でもあります。人流の増加が見込まれ、新規陽性者数の下げ止まりや再拡大が懸念されます。市民の皆さんにおかれましては、マスクの着用や手洗い、うがいなど、引き続き基本的な感染予防策を徹底していただくようお願いいたします。